

第10次中期経営計画

初年度総括（2022年度）

2023年6月5日(月)

株式会社カノックス

証券コード
8076

◆ 2022年度事業環境の総括

鋼材需要

- ・トヨタ国内生産は期初計画340万台に対して278万台(81%)の計画割れ。
- ・建築関連は大型物件堅調も、当社主力の中小物件は盛り上がりを欠く。

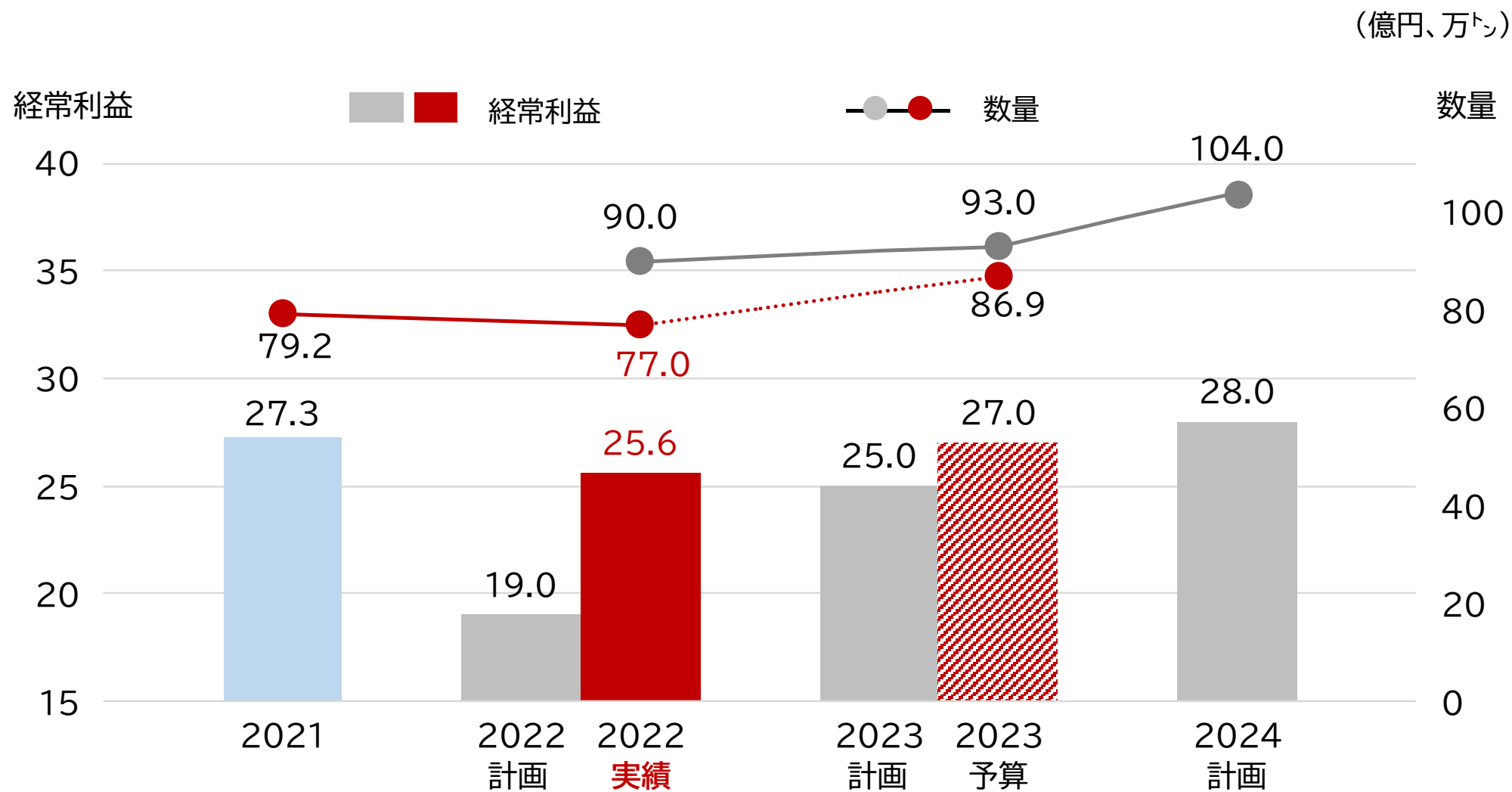
鋼材価格

- ・トヨタ集購価格は期初より+60円/kg(上期+20円、下期+40円)上昇。
- ・高炉材の高騰により電炉材・輸入材との価格差が拡大、市況は低位が続いた。

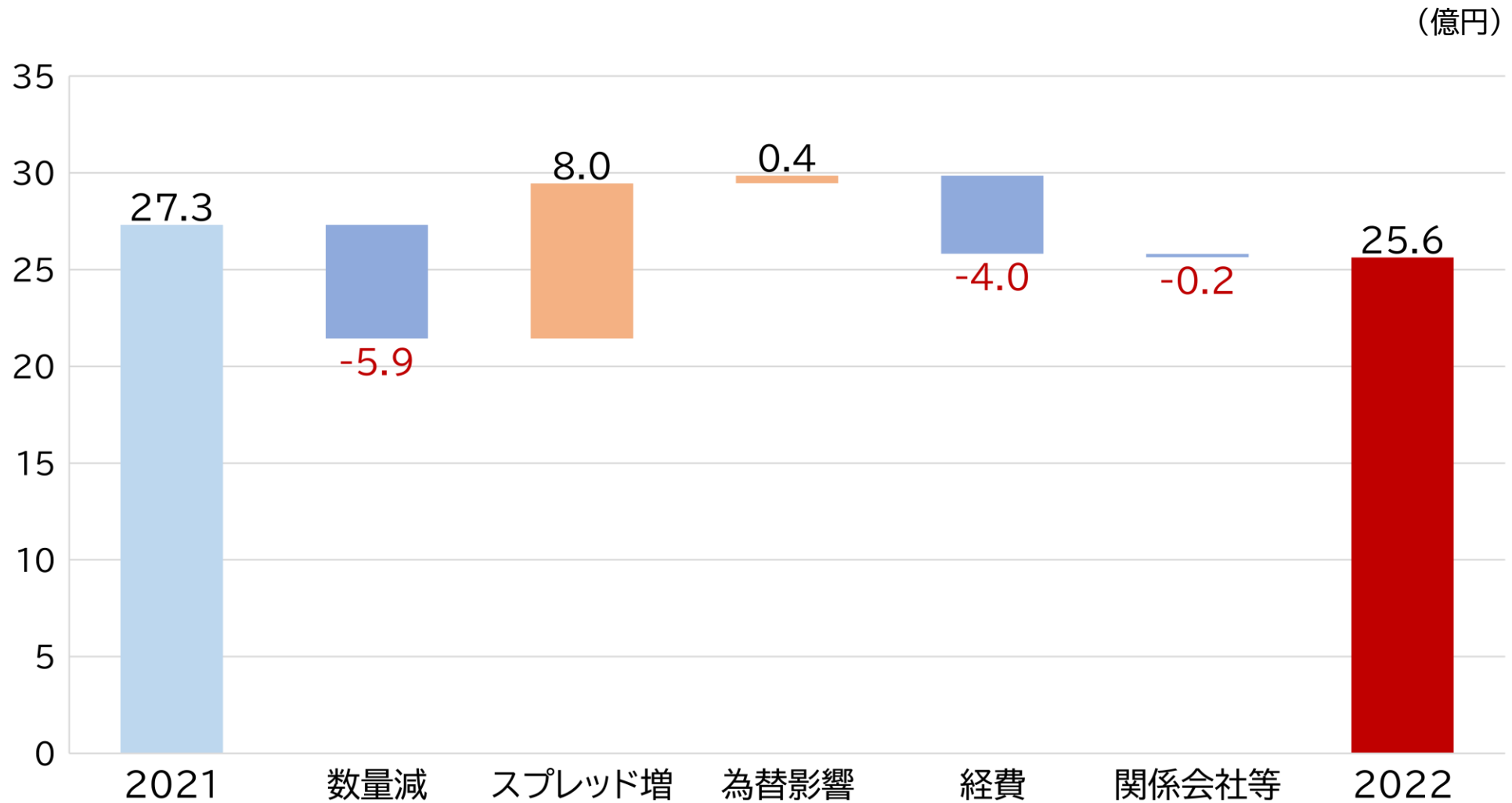
当社業績

- ・自動車紐付き向けの下期追加値上げを見込み、10月に業績上方修正(経常利益19億円→26.5億円)。
配当金70円(上期35円、下期35円)を90円に増配修正。その後記念配5円により95円/通期。
- ・売上高は1,516億円とレコードハイを記録、経常利益は25.6億円(予算比▲0.9億円)と増収減益となった。

◆ 連結経常利益 計画VS実績



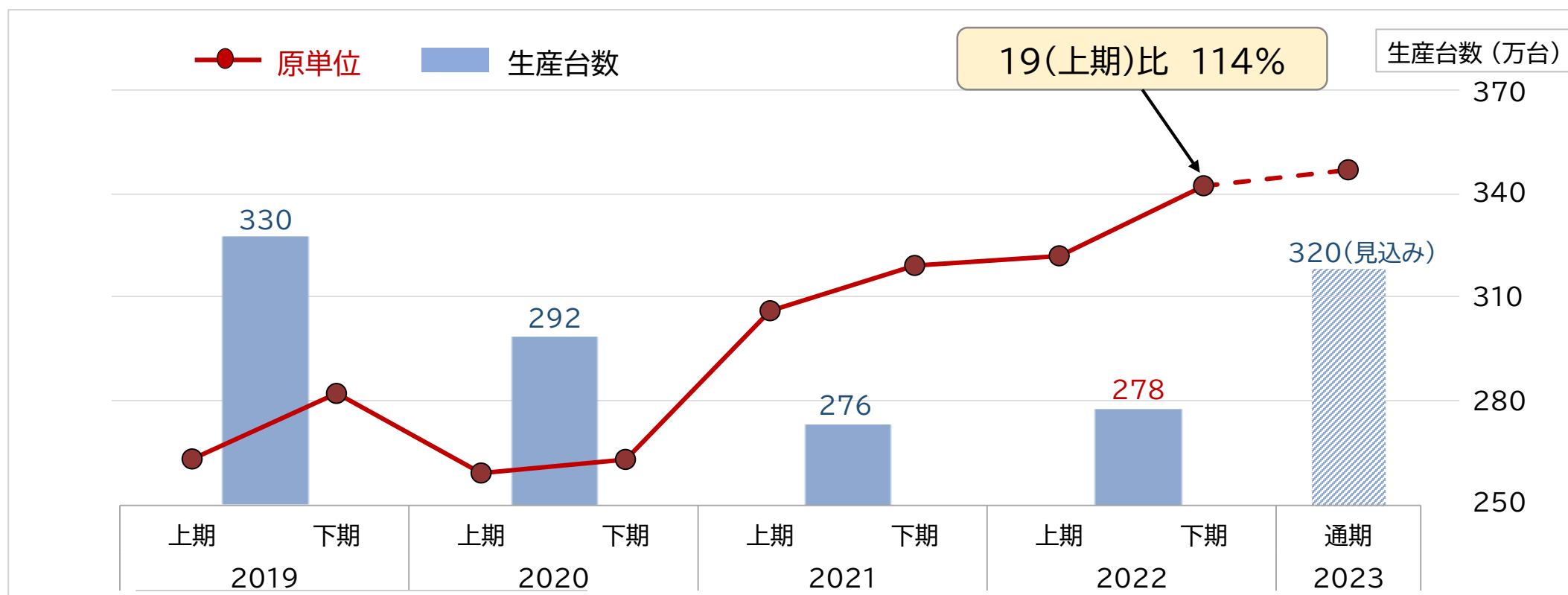
◆ 経常利益 収益インパクト(対 前年比)



■ 事業基盤の強化と成長戦略

当社加工機能をフルに発揮し、信頼のサプライチェーンで応える

【 当社のトヨタ向け原単位推移 】



・第9次中計より取り組んできたTier1への受注戦略が奏功し、当社主力のトヨタ向け原単位は着実に上昇。

■ カノークス流通機能の強化

重点エリア、重点事業に人材と資金を集中的に投下し、更なる機能強化と新たな事業展開に繋げていく

【 投資案件の進捗 】

対象部署	テーマ	備考
カノークス鋼管北上	レーザーの加工完全無人化体制の強化（AGV増強）	23年10月より導入予定
カノークス鋼管東海	かんばん生産から計画生産へのシステム導入	23年10月より導入予定
	計画生産移行に伴う置場拡張	23年9月完成予定
東京支社	北関東地区 加工・物流拠点の再編	再編成に向け詳細検討中
空見スチールサービス	新スリッターライン導入	導入に向け詳細検討中

前年度に在庫増加により悪化した営業キャッシュフローを在庫適正化で改善を図ったが、大幅な鋼材価格上昇とCCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)の影響により、改善傾向にあるものの依然マイナス。DERは1.34倍と上昇し、今後市況の安定化と在庫の適正化による改善に取り組む。

【財務指標】

年度	21年度実績	22年度実績	24年度目標
ROE	7.32%	6.71%	8~10%
ROIC	3.19%	2.53%	5%程度
D/Eレシオ	1.09倍	1.34倍	1.0倍
配当性向	41.5%	52.3%	50%

【連結キャッシュフロー】

(百万円)

区分	22年3月	23年3月	増減
営業活動CF	▲11,378	▲6,478	+4,899
投資活動CF	▲169	▲92	+77
財務活動CF	7,494	6,637	▲856

(1) SDGs推進活動

SDGs推進を経営の中核課題と位置づけ、PDCAを回しながら下記取り組みを実施

環境負荷低減

- ・ 子会社への太陽光発電設置の検証
- ・ Docu Works導入によるペーパーレス化
- ・ 営業車のHEV、PHEV車への切替

地域社会への貢献

- ・ 名刺をSDGs素材(東北コットン、バナナ繊維)に刷新・・・①
- ・ ボランティア活動参加
- ・ 日本赤十字社「海外たすけあい」への継続寄付(2年目)・・・②

人材育成・女性活躍促進

- ・ 一般職の初研修「エール」の実施・・・・・・・・・・・・・・ ③
- ・ I R、SDGs推進チームに女性社員5名参画
- ・ 採用HPの刷新、採用広告の地下鉄・・・・・・・・・・・・・・ ④

① SDGs名刺



② 「海外たすけあい」寄付



③ 一般職研修「エール」



④ 地下鉄広告



(2) IR活動

東証スタンダード市場上場(2022年11月21日)

投資家向けIR活動を展開

企業プレゼンや質疑応答、アンケート結果を通し得た投資家の声を、今後の活動に反映していく

【2022年度IR活動】

開催日	イベント名	主催	出展形式	参加者
2022/7/19	名証IRセミナーオンライン 投資家向け企業説明会	名古屋証券取引所	Live配信 (web名古屋)	172名
2022/9/9-10	名証IR EXPO2022 企業説明会	名古屋証券取引所	対面 (名古屋会場)	180名
2023/2/3	個人投資家向け オンライン企業セミナー	三菱UFJモルガン・ スタンレー証券 auカブコム証券	Live配信 (web東京)	238名
2023/3/16	個人投資家向け 会社説明会	東海東京証券	対面 (名古屋会場)	72名

(2) システム戦略

デジタル化と情報セキュリティを推進するため、戦略的IT投資を実施



サイバーセキュリティ対策の強化

- ・勉強会の開催と標的型訓練メールの実施
- ・サイバーセキュリティ保険への加入



クラウドストレージ「BOX」の導入

- ・従来の設置型サーバーをクラウドストレージに移行



四国センター業務管理システムの導入

- ・タブレットを駆使し受注・在庫・加工・出荷を一元管理するシステム



カノークス鋼管グループ生産管理システムの導入

- ・生産業務効率化に向けたシステムネットワークの開発

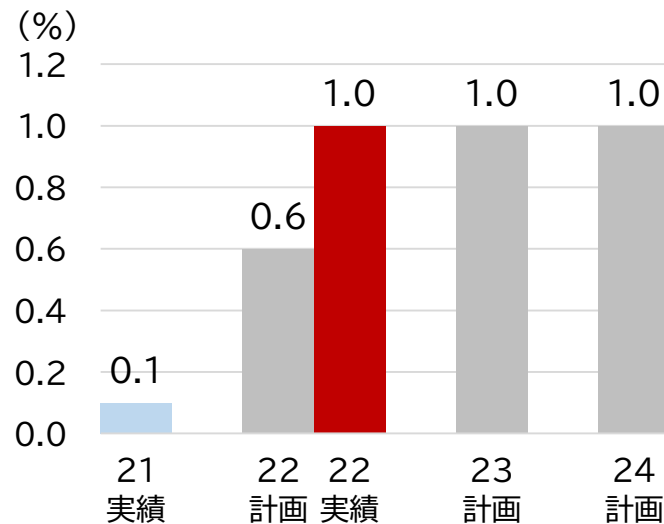
(1) EVシフト

- ・ BEVボディー部品向け販売増加
- ・ 自動車メーカー⇒Tier1への大型プレス部品外出しが加速、新規受注に繋がる

【EV受注比率】

[22年度]

計画 0.6% ⇒ **実績 1.0%**
(計画比+0.4%)



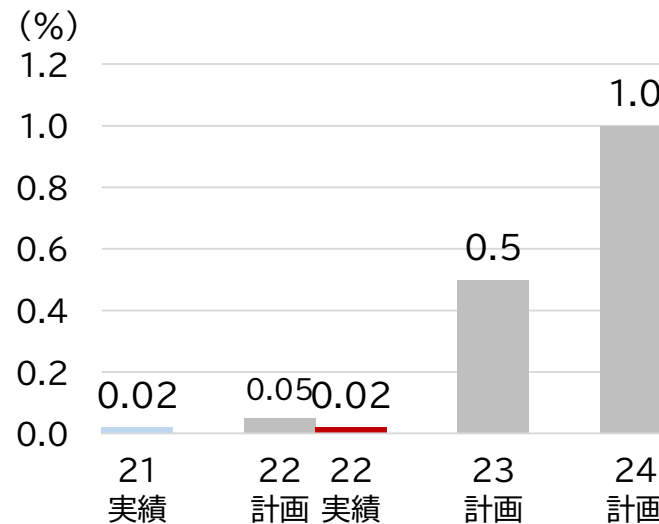
(2) マルチマテリアル

- ・ 顧客ニーズと仕入ソースの掘り起こし
- ・ アルミ電位差腐食の観点から、高耐食メッキ鋼板の拡販を推進。

【マルチマテリアル比率】

[22年度]

計画 0.05% ⇒ **実績 0.02%**
(計画比▲0.03%)



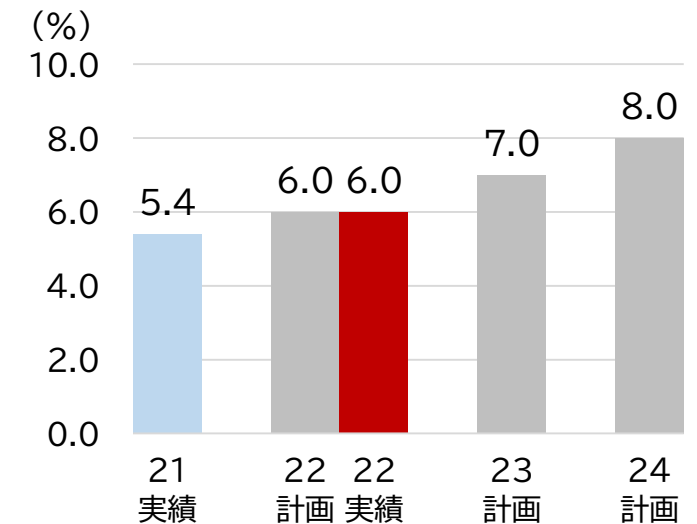
(3) カーボンニュートラル

- ・ グループ消費CO2削減施策の検討
- ・ 電炉材取引の取組み

【電炉材比率】

[22年度]

計画 6.0% ⇒ **実績 6.0%**
(計画比±0%)



【第10次中計 初年度 定量目標に対する進捗結果】

課題項目	KPI	第9次	第10次				第11次	第12次
		2021	2022		2023	2024	2027	2030
		実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
業績目標	経常利益	27億円	19億円	25億円	25億円	28億円	30億円	33億円
EVシフト	当社EV受注比率	0.1%	0.6%	1.0%	1.0%	1.0%	3.0%	8.0%
マルチマテリアル	鉄/MM比率	0.02%	0.05%	0.02%	0.5%	1.0%	8.0%	30%
カーボンニュートラル	電炉材比率	5.4%	6.0%	6.0%	7.0%	8.0%	14.0%	30.0%
SDGs/ESG	SDGs/ESG投資	—	0.7億円	0.4億円	1.0億円	1.1億円	1.2億円	1.2億円